

科目名	3級造園技能士資格対策							年度	2024
英語科目名	Level 3 landscaping technician qualification measures							学期	前期
学科・学年	土木・造園科 1年次	必／選	選1	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	佐藤武久、谷合光男	教員の実務経験		有	実務経験の職種		造園施工（佐藤、谷合）		
【科目の目的】 3級造園技能士の資格は、造園に関する基本的な技能と知識を有する技能士を認定するためのものです。この資格取得を目指す者は、一定レベルの造園技術を身に付け、さまざまな造園作業を適切に行う能力があることが求められます。3級造園技能士資格の取得を目的とします。									
【科目の概要】 3級造園技能士資格の科目目的は、造園に必要な基本技術と知識を習得し、植物の管理、機械操作、設計施工の基礎を学び、安全かつ効率的な造園作業ができるようにすることです。また、環境保全と持続可能な造園方法も重視します。									
【到達目標】 造園概論では、次の3つを到達目標とする。 ①造園計画のプロセスを理解する ②計画立案に必要な知識・法規等を理解する ③造園計画の基本的な考え方を理解する									
【授業の注意点】 造園技能士の授業では、安全第一を徹底し、機械の正しい操作方法を学ぶことが重要です。また、実践的な技術の習得には実地での演習が不可欠であり、指導者の指示に従うこと。さらに、環境への影響を考慮した作業方法を意識し、持続可能な造園技術の理解を深めることが求められます。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	高度な技術を駆使し、創造的な作業ができる。		複数の技術を自立して操作でき、問題解決ができる。		基本的な技術の操作ができるが、指導が必要。				
到達目標 B	安全文化の促進者として、周囲への啓蒙も行う。		安全規則を自発的に遵守し、他人への指導もできる。		安全規則の基本を理解しているが、注意が必要。				
到達目標 C	持続可能な造園技術の開発と実践に貢献する。		環境への影響を考慮した作業を計画・実施できる。		環境保護の基本的な知識がある。				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 3級造園技能検定受験の手引き 日本造園組合連合会									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 課題の到達度、提出状況、授業への取組等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

